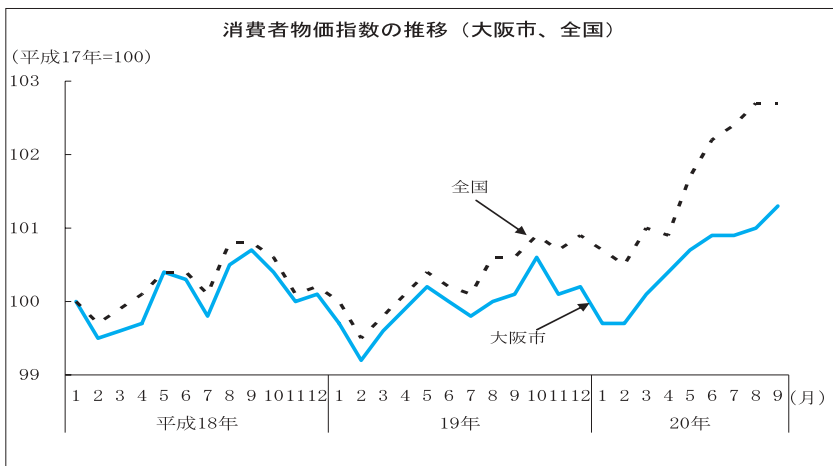


## 11. 消費者物価指数

大阪市の消費者物価指数は、20年春以降、上昇傾向が強まっています。食料品価格の高騰や、エネルギー価格の高止まりを背景とした光熱費の上昇が影響しています。

年	月	消費者物価指数（総合、平成17年＝100）	
		大阪市	全国
平成19年(2007)	1	99.7	100.0
	2	99.2	99.5
	3	99.6	99.8
	4	99.9	100.1
	5	100.2	100.4
	6	100.0	100.2
	7	99.8	100.1
	8	100.0	100.6
	9	100.1	100.6
	10	100.6	100.9
	11	100.1	100.7
	12	100.2	100.9
20年(2008)	1	99.7	100.7
	2	99.7	100.5
	3	100.1	101.0
	4	100.4	100.9
	5	100.7	101.7
	6	100.9	102.2
	7	100.9	102.4
	8	101.0	102.7
	9	101.3	102.7

（大阪府統計課「消費者物価指数月報」、総務省「消費者物価指数」）



### 消費者物価指数(CPI)

消費者が購入する各種の商品とサービスの価格を総合して、物価の変動を時系列的に測定するもの。

また、例えば「家計調査」の家計消費支出(名目)のデータにCPIのデータを割り合わせてみることで、消費生活に必要な支出が物価の変動によって実質的にどのような影響を受けたか(実質家計消費支出)が分かります。